

優秀賞

選択テーマ：③ 地域資源の掘り起しと活用による地域創生・町おこし

メリットダラケ！！ ～海岸リサイクル大作戦～

宮崎県立日向高等学校 「日向市小さな小さな砂浜の会」 (3年・佐保太晟, 3年・山本 葉, 3年・太田雄士)

以下の3つの課題テーマの中から1つ選び、番号を○で囲んでください。 ※テーマの趣旨等、詳細はなるほどHPで確認してください。テーマに沿っていない作品は、審査対象外となります。

1. 楽しく分かりやすい学校教育 2. 介護に役立つアイデア・サービス ③. 地域資源の掘り起しと活用による地域創生・町おこし

アイデア名 (30字以内)	メリットダラケ！！～海岸リサイクル大作戦～
発案のきっかけ (100字以内)	世界有数のサーフスポットが市内にあるにもかかわらず、市民がその良さに気付いていないという現状を解決し、そのPRを兼ねて、資源を使った地域貢献がしたいと思ったから。
アイデアの特長 (100字以内)	メリットの多さとデメリットの少なさ。本来「ゴミ」として見られるはずの流木に新たな価値を見出し、製作物の利用でサーフトウンとしての知名度も上げることができる。

以下に、作品について「具体的に」分かりやすく述べてください(形式自由)。図やグラフ、写真などを貼付する場合は、剥がれないようしっかりと貼り付けてください。

○日向市の現状

市内に世界有数のサーフスポットがあることを市民があまり知らない
 ⇨
 きれいな海である反面、流木やビニール等の多くの漂着物がある

○最終目標

- ・日向市民が世界有数のサーフスポットがあるという事の認知率100%
- ・サーフインの祭り(イベント)を開催する
- ・サーフィンが有名ということで県内外の認知度を上げる

具体策(アイデア)

漂着物(流木・ゴミ)が溜まる → 漂着物(流木・ゴミ)集めくボランティア → サーフィンのストラップ製作(原材料:流木) → 製作物の販売・サーフィンのイベント開催 → 日向の海・サーフィンの認知度UP → サーファー・観光客の増加 → 漂着物(流木・ゴミ)が溜まる

実際に7月30日の日向市の祭りの中でチラシばらまきを行い、8月12日に海岸清掃ボランティアを開催、約300人の方に協力していただきました！！多くの流木も集まりました。

実際のチラシ ボランティア風景

○ストラップ(詳細)

- ・原材料 流木
- ・製造者 地元企業
- ・販売場所 日向市内のお土産売り場・サーフショップ・飲食店・市内のイベント等
- ・表面「ヒュー日向」のロゴ
- ・裏面 好きな言葉・名前の刻印

表面 表面

◀メリット▶

1ゴミ(流木)を材料とすることで海岸清掃と製作費減少につながる
 3市民に清掃ボランティアに参加してもらうことで、海岸がきれいになるだけでなく市民に日向の海を誇りに思ってもらえる

2市内企業にストラップ製作を依頼することで地域企業の活性化
 4道の駅などで販売することで多くの人の目にも触れ、知名度UPできる

(応募用紙より)



◆どんなアイデア？
 流木を利用したサーフボード型のストラップの製作・販売などを通して、サーフスポットとしての日向市の認知度の向上を図る。

◆思い付いたきっかけは？
 日向市が良いサーフスポットであることを市民があまり知らないという現状と、海岸に漂着する流木が多いという問題点を解決したいと思ったこと。

◆作品に仕上げるまでの苦労や工夫は？
 市役所・市民・企業にとってメリットの企画を立案すること。

◆発表会で特に伝えたかった特長は？
 市民ボランティア → 集めた流木でストラップ製作・販売 → 認知度UPによる観光客数の増加、という循環型の活動。この活動を継続させることで、日向サーフィンの認知度を高めることができる。

◆実現したらどんな社会貢献が可能？
 サーフスポットの流木などの漂着物を減らすことで、さらにきれいな海にすることができ、サーフスポットとしての人気も高まると考えられる。また、市民が、日向市に日本有数のサーフスポットがあると認識することで、市のPRのあり方も、良い意味で変わってくると考えられる。

◆今後取り組んでみたいことは？
 サーフボード型ストラップの試作品製作や、ボランティアによる海岸清掃の定期的開催の定着。

(参加レポートより)

(発表資料より)



奨励賞

選択テーマ：① 楽しく分かりやすい学校教育

先生も生徒も楽しめる英語教育

宮崎県立日向高等学校「STR」(3年・黒木詞未, 3年・木下慎之介, 3年・須藤里穂)

以下の3つの課題テーマの中から1つ選び、番号を○で囲んでください。 ※テーマの趣旨等、詳細はなるほどコンHPで確認してください。テーマに沿っていない作品は、審査対象外となります。

① 楽しく分かりやすい学校教育 2. 介護に役立つアイデア・サービス 3. 地域資源の掘り起こしと活用による地域創生・町おこし

アイデア名 (30字以内)	先生も生徒も楽しめる英語教育
発案のきっかけ (100字以内)	5人メンバーの母が小学校教員で外国語活動を担当し、その教員が話さず聞く中で様々な課題点を見つけた。そこで、高校生の新たな視点から研究し、新しい英語教育の発展につながることを目的とした。
アイデアの特長 (100字以内)	生徒と先生との両者の対策があり、シンプルで、実際にアンケートなどで現在の問題点を掘り出し、対策も考えられている。より具体的な提案もされている。

以下に、作品について「具体的に」分かり易く述べてください(形式自由)。図やグラフ、写真などを貼付する場合は、割られないようにしっかりと貼り付けてください。私たちの住む日向市では、小学1年次から、授業の中に外国語活動を取り入れている。早い段階から英語を学ぶのは、数多くのメリットがある一方で課題もある。そこで、課題へのアプローチを生徒側と先生側に分けて研究し、解決策をまとめた。

生徒側

研究内容① 日向高校生150人にアンケート!
Q 小学校の英語教育は現在役に立っていると思うか?
[はい] 70% [いいえ] 30%

しかし、[はい]と答えた人の奥の中には...

- 英語が嫌いという意見が多い。
- 日常会話で英語を使わない。
- ALTとのコミュニケーションがうまくない。

① 私たちが考えた解決策①

健康観察と英語で行う
具体的な内容 → 先生が出席番号○番の人に、「How are you?」と話せば、聞かずに「I'm sick」や「I'm fine」で自分の状態を答える。次に、①番の人は次に②番の人に同じ質問をし、②番の子が答える。これを③番から⑤番まで繰り返していき、最後は先生が「How are you?」と話せば、生徒全員が質問の役割も、答える方も回ってくる!!

② 先生側(初めの日本人の先生のみ)から生徒側へ英語であいさつする
例) 廊下ですれ違う時
先生 Good morning! と話したら、生徒 Good morning! と答える

③ 動作 → 英語で身につける力UP!!
小学生に単語だけ覚えさせて、中身に付かないので、日常のちょっとした動作と一緒に英語を覚えさせる。
例) 立ち上がる時 → Stand up!
座るとき → Sit down!
窓を開ける時 → Please open the window!
帽子を脱ぐ時 → Take off your cap!
⇒ 今までの動作 → 英語以外の授業でも積極的に練習できるようにする

先生側

研究内容② 様々な小学校13人の先生にアンケート!
Q 英語の授業をする上で不安なことはあるか?
⇒ 13人全員が「はい」と回答
Q では何が不安か?
・英語(発音や文法)に自信がない
・ALTとのコミュニケーションが取れない
・ALTの打ち合わせの時間がない
・英語での指示が「はい」と思っている
・All Englishの授業に不安がある

⇒ どの先生も自分の授業に自信を持っていない!
ALTとのコミュニケーション不足

② 私たちが考えた解決策②

① 先生同士で互いに授業の良さを教え合う
日向市には、市庁舎別研究員というのがあります。活発に、外国語活動担当の教員がそれぞれの教員の授業を見る。
② 授業準備研究員でその授業の良点を話し合う
③ 研究協議会で互いの授業の内容で意見交換し合う
④ 有益な情報を教壇へ持ち寄り、他の教員に報告する。

* 私たちが考えた活用の良さが思っていたより、英語が生徒に伝わるのが時に、理解しにくい内容も出てくる。(→ 裏紙に詳しく説明) ALTとの意見交換も大切で、やりとりも大切で、ゲームの活用も英語で話さないとダメか、など

② 私たちが自分でALTに頼らないリストを作成する
[対策] 先生たちの関心を引き出すために、慣れた内容を用意する!
例) 授業の進め方はどうしたい? 出身国について など!
[手順1] 1枚の用紙に英語でまとめてその学校のオリジナルプロフィールを作成! → ALTに渡す
[手順2] その回答を見て、ALTのコミュニケーション不足を解消する!
⇒ ①、②の解決策を用いて授業やALTとのコミュニケーションの不安が解消される!!

(応募用紙より)



◆どんなアイデア?
小学校の英語教育について、生徒側と先生側それぞれの課題点を見つけて、具体的な策を出し、リンクさせていけるようなアイデア。

◆思い付いたきっかけは?
メンバー全員、英語に興味があったのと、私たちの住む日向市が、小学1年次からの英語教育に取り組んでいることもあり、問題点を解決したいと考えたため。

◆作品に仕上げるまでの苦労や工夫は?
伝えたいことを上手く4分にまとめられるようにすることに苦労した。パワーポイントの色使いや字の大きさに気を付けた。

◆発表会で特に伝えたかった特長は?
早くからの英語教育で戸惑うのは生徒だけでなく、先生も一緒であるので、そこに着目し、先生の授業への不安やALTとのコミュニケーション不足を解消するために、オリジナルプロフィール作成や、授業の教え合いなどを提案したこと。

◆実現したらどんな社会貢献が可能?
1人1人の英語力を向上させることができる。

◆今後取り組んでみたいことは?
オリジナルプロフィールを作成し、いくつかの学校に導入して効果を確認する。
(参加レポートより)



現在の日向市 小学1年次から外国語活動を取り入れている	研究内容① 日向高校生150人にアンケート! 小学校の英語教育は現在役に立っていると思うか? [はい] 70% [いいえ] 30%	しかし、[はい]と答えた人の奥には...	健康観察と英語で行う
先生側(初めの日本人の先生のみ)から生徒側へ英語であいさつする	研究内容② 様々な小学校13人の先生にアンケート! Q 英語の授業をする上で不安なことはあるか? ⇒ 13人全員が「はい」と回答	Q では何が不安か?	先生側
オリジナルプロフィールを作成し、いくつかの学校に導入して効果を確認する。	オリジナルプロフィールを作成し、いくつかの学校に導入して効果を確認する。	より充実した英語教育に!	

(発表資料より)

努力賞

選択テーマ：① 楽しく分かりやすい学校教育

“逆さ”の学校 ～ICTと習熟度教育～

大分県立大分商業高等学校 1年 高瀬 智慧

以下の3つの課題テーマの中から1つ選び、番号を○で囲んでください。 ※テーマの趣旨等、詳細はなるコンHPで確認してください。テーマに沿っていない作品は、審査対象外となります。	
1. 楽しく分かりやすい学校教育	2. 介護に役立つアイデア・サービス
3. 地域資源の掘り起こしと活用による地域創生・町おこし	
アイデア名 (30字以内)	“逆さ”の学校 ～ICTと習熟度教育～
発案のきっかけ (100字以内)	授業の復習として参考書を読むことも、文字では理解しがたく、クラス内で学力格差が生まれることが、「競争」より「カスタム」になるため、情報化の将来と自身の未来を考えた思いから、進歩情報化の象徴であるスマートフォンを、自らに有効的に利用し、従来の画一的な教育制度を一新の目的に逆転させたプランにしていることです。
アイデアの特長 (100字以内)	以下に、作品について「具体的に」分かりやすく述べてください(形式自由)。図やグラフ、写真などを貼付する場合は、割がれないようにしっかりと貼り付けてください。
現状分析	資料「日本経済新聞」2010年10月7日より引用。 日本中韓の高校生を比較した財団法人「日本青少年研究所」(東京・新宿)の調査で、日本の高校生は4割以上が授業中に居眠りすると回答、4カ国で最も高い割合だ。またことが分かった。日本の高校生はノートはじめるものの積極的な発言に欠けるなど、授業への受動的な態度も目立った。(中略) 同研究所は「日本の高校生はゲームや携帯電話のメールで夜更かししており、授業への集中力が低下する傾向にある」と分析している。
導入するプラン	“授業”のような新たな学習と、ICT機器を利用して家庭で行い“宿題”のような復習や演習と、習熟度に分けて学校内で行う。 反転授業と少数授業の合作。 生徒の所属が学校教師の映像授業 → 理解度のミニテスト → 学校 → A → B → C 理解の不足しているところを補う。個人に合わせた定着させる授業。 スマートフォン等の利用で教育に伸びが認められることで、有用性のアピールにつながる！
プラン導入で発生するメリット	普及の遅んできた情報機器に興味を持ち出している学生世代から、独自にスマートフォンインターネットを利用することで、若年期からの情報リテラシーを身につけられる。 批判も集まる情報機器の有用性を、全世代にアピールができる。 個人への定着を進めることで、速度は遅えど「出来るようになった！」が自己肯定につながる。

(応募用紙より)



◆どんなアイデア？

最近発展している情報機器を用いた ICT 教育で、家でも授業を受けられる“反転授業”を導入する。加えて、少人数クラスを作り、習熟度で分けるアイデア。

◆思い付いたきっかけは？

自分が学校を休んだときに、授業に追い付かず、体調そっちのけで必死になり、自分として疲弊していたこと。中学が学力世界の極みであって、孤立を感じていたこと。

◆作品に仕上げるまでの苦労や工夫は？

既にある教育体制を、大分、全国に導入するために、今の学生に何が必要なかを周りの人に聞いて回ったこと。

◆発表会で特に伝えたかった特長は？

私たちの世代が大人として社会に出たとき、必要とされる素質を2つ挙げ、かつ、その素質を、このアイデアで成立させることができる、ということ。

◆実現したらどんな社会貢献が可能？

情報化の更なる発展と、人間としての精神的な発展。学校を休んだとしても、自分の良いときに授業を見直すことができる。

◆今後取り組んでみたいことは？

家でも見ることができるよう、インターネット環境を自治体規模で備えること。

(参加レポートより)



(発表資料より)

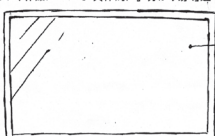
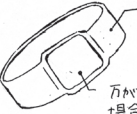



努力賞

選択テーマ：② 介護に役立つアイデア・サービス

寂しい日常を変える頼もしい存在を貴方に

大分県立宇佐産業科学高等学校 2年 西原 奈央

以下の3つの課題テーマの中から1つ選び、番号を○で囲んでください。※テーマの趣旨等、詳細はなるほどコンテストHPで確認してください。テーマに沿っていない作品は、審査対象外となります。	
1. 楽しく分かりやすい学校教育	② 介護に役立つアイデア・サービス
3. 地域資源の掘り起しと活用による地域創生・町おこし	
アイデア名 (30字以内)	寂しい日常を変える頼もしい存在を貴方に
発案のきっかけ (100字以内)	稀にニュースで流れる高齢者の孤独死の記事を見て、寂しく死ぬよりも穏やかに過ごせる方法はないかと思ひ、此のアイデアを思ひ至りました。
アイデアの特長 (100字以内)	AIが搭載されており、会話を体感管理と学で安心と来感やかな日常を届けてくれます。会話が大好きなAIです。
以下に、作品について具体的に「分かり易く」述べてください(形式自由)。図やグラフ、写真などを貼付する場合は、割がれないようにしっかりと貼り付けてください。	
	41型で薄型の壁掛けでタッチパネル式のテレビで、壁にはアームが固定されており距離調節が出来る。調節する度にアームの音分が緩くならない特殊な部品を使う。
縦: 51.03cm 横: 90.60cm 対角線: 104.14cm 面積: 4,623.28cm	
	肌に優しいゴムで作られたリストバンドの様に見えるが、実は膨らんでいる所に脈をはかたり健康状態が分かるパッチが入っている。認知症の方はGPS搭載のリストバンドを別に用意する。
万が一、認知症の方が介護施設を抜け出し徘徊している場合は、リストバンドに搭載されているGPSを使って、PCで居場所を管理出来る。	
	液晶画面には、顔が映し出されている。コミュニケーションを取るために、細かい表情が画面に映る。また、高齢者から分りやすい様に鼻に触れると、番組やニュースが見れる。右頬はテレビ電話が出来る。左頬を触ればヘルパーさんがいる待合室にコールが鳴るようになっている(誤ってコールを押す場合があるので、四秒か五秒の間を空けてコールが鳴る)
笑顔 かしこめそう 話すしかめは返事をし、話し相手としてコミュニケーションが沢山とれる。AI知能が搭載されている為、コミュニケーションを取る度に学習。不意な言葉を「痛い」とか「目かいて」という言葉を発していた場合は、その言葉と認知し「大丈夫でしょうか、どの部分が痛いですか」と話しかけ、機械が判断し、ヘルパーさんの控室に勝手にコールを鳴らしてくれる。	
	この機械が動かすのは、事前に顔登録と名前などの登録が必要。

(応募用紙より)



◆どんなアイデア？
AIを使って高齢者の方を介護、サポートするアイデア。

◆思い付いたきっかけは？
インターネットで、日本は深刻な超少子高齢化社会であると書かれた記事を見つけたのがきっかけ。

◆作品に仕上げるまでの苦労や工夫は？
実際に高齢者の立場になって、もし自分がこうなったらこれがあれば凄く助かるな、と考えたり、機械の操作を簡単にできるようにしたところ。

◆発表会で特に伝えたかった特長は？
実際に利用者の方と会話が出来るところ。

◆実現したらどんな社会貢献が可能？
認知症予防、孤独死予防、医療費や介護の負担の軽減。

◆今後取り組んでみたいことは？
AIとは違った介護のアイデアを発案したい。

(参加レポートより)

AI介護 ～高齢者や認知症の方へのケア～	発表のきっかけ 日本は2025年に超少子高齢化社会に突入 認知症や孤独死などの様々な問題 介護や医療の負担が重くなっていく	AIを使ったアイデア 介護施設 病院 ご家庭 広がる助け合いの輪
特徴 細かい表情 リストバンド テレビ型タブレット	対応のバリエーション 高齢者の日常生活 認知症や孤独死などの予防 医療費や介護の負担軽減	期待... 認知症や孤独死などの予防 医療費や介護の負担軽減 少しでも優しく楽しく 頼もしい存在を貴方に
ご清聴ありがとうございました。		

(発表資料より)



その他

選択テーマ：③ 地域資源の掘り起しと活用による地域創生・町おこし

学習・体験型ツアー付き人材育成型商品 『これであなとも盆栽人』

愛媛県立土居高等学校 「情報科学部」 (3年・立川絢太, 3年・高倉銀河, 3年・前田陸也)

以下の3つの課題テーマの中から1つ選び、番号を○で囲んでください。 ※テーマの趣旨等、詳細はなるほどコンテで確認してください。テーマに沿っていない作品は、審査対象外となります。	
1. 楽しん分けやすい学校教育	2. 介護に役立つアイデア・サービス
3. 地域資源の掘り起しと活用による地域創生・町おこし	
アイデア名 (30字以内)	学習・体験型ツアー付き人材育成型商品 『これであなとも盆栽人』
発案のきっかけ (100字以内)	四国中央市は五葉松盆栽の日本3大産地の一つとして有名。敷居が高くネガティブなイメージが強いが、一度触れた盆栽の魅力に気付くはず。観光ツアーで興味を持ち、盆栽文化の奥深さを感じてほしい。
アイデアの特長 (100字以内)	盆栽ツアーで知識と育て方をマスターし、盆栽の魅力を理解した人(五葉松マイスター)に商品(ミニ五葉松)を販売し、アフターフォローする。盆栽文化の後継者育成を目的とする人材育成型商品
以下に、作品について具体的に「分かりやすく述べてください(形式自由)」。図やグラフ、写真などを添付する場合は、割れないようにしっかり貼り付けてください。	
●観光甲子園で日本一を達成 全国的にも注目される活動 5年前から情報科学部(ビジネスコース)では、地元産産業を支える人材の育成を目的に、産・官・学・地域と連携し、「伊予水引」を後世に伝える活動を通して、地域の課題を解決するためのビジネスアイデアを提案してきた。昨年度の地域活性化コンテストでは、全国入賞4回、四国1位、県1位に輝いた。「高校生ビジネスプラン・グランプリ」(日本政策金融公庫主催)全国100入賞、「地方創生・政策アイデアコンテスト」(内閣府主催)四国地方代表など。今年度は、「全国高等学校観光選手権大会(観光甲子園)」で(グランプリ)：国土交通省観光庁長官賞(全国1位)を受賞し、副賞(10万円)を西日本兼用で被賞を受けた宇和島市の立間小学校に寄付するなど社会貢献活動が評価され「四国中央市長賞」を授けられた。地元や県内をはじめ、最近では全国版で紹介されることも増えており、全国的にも注目される活動になり始めている。	
●五葉松の3大産地「赤石五葉松」 海外でも人気 四国中央市土居町の東赤石山(1,707m)一帯の岩場には、昔からヒメコマツ(赤石五葉松)が自生していた。広大な五葉松の原生林となっており、何万本となく自生する五葉松は葉色が鮮やかな緑色の縞縞は濃く、よくまって育ち、幹は早くから古さが現れ、盆栽には理想的な特性を持つことから日本国内はもちろん海外でも有名である。	
●地元特産「赤石五葉松」を活かした 人材育成型の商品 地元特産「赤石五葉松」を活かして、若い世代や女性をターゲットにした観光ツアーを企画し、様々な学習や体験を通して盆栽を身近な存在として感じてもらい、興味をもった人(マイスター認定)に「ミニ五葉松盆栽」鉢を販売する。(鉢+料金を含む)ただ販売するだけに終わらず、むしろ定期的なアフターフォローに重点を置いた商品販売システムを確立する。盆栽文化を支える人材育成につなげるという、今までに前例がない盆栽文化伝承を目的とする人材育成型商品である。定価2,980円(観光ツアー、材料代、実習代、昼食、盆栽鉢、販売後のアフターフォロー代、などすべて含む)。協力(赤石五葉松盆栽組合、観音庵、土居文化会館、タビックスジャパン愛媛支店 など)	
●世界的BONSAIブーム 日本の盆栽が人気 海外では「生きた芸術作品」として日本の盆栽人気が高まっている。盆栽は自然そのものがアートである。日本では失われてしまったが、ヨーロッパでは見直されている。今世界は盆栽ブームの真っ只中。BONSAI は日本が誇る伝統文化であるのに世界の流れに乗れない手はない。この機会を逃すと、日本の盆栽は世界から取り残されてしまう。	
●知りきれない無限の魅力を秘めた 盆栽(BONSAI) 織田信長、徳川家光、明治天皇、伊藤博文、大隈重信、大隈毅、吉田茂、佐藤栄作、夏目漱石、正岡子規など、今の日本を築いてきた偉人たちに盆栽愛好家は数えきれないくらい多い。盆栽には私たちの知りきれない無限の可能性を秘めている。偶然の縁り逢いで生まれ、世界に2つとないのが盆栽。伝統文化、芸術、宇宙であるといわれるゆえである。	
●極端に偏った盆栽愛好家の年齢層 地元盆栽農家は後継者不足 若者と女性に魅力を伝える 盆栽の愛好家は60歳~80歳の男性が大部分を占め、極端に偏っている。そのなかでも、社会的に地位が高い方が多かった。逆に、若い世代や女性に興味を示した人がほとんどいなかった。国民的人気番組「サザエさん」に出てくる盆栽は、敷居が高く堅苦しいイメージがある。これが広く定着してしまったのかもしれない。でもこれでは近い将来、盆栽文化は存続が難しくなる予想される。若い世代や女性をターゲットにして、盆栽愛好家や盆栽後継者を増やさなければならぬと思う。今回の赤石五葉松の調査研究を通して、盆栽とも奥深く非常に魅力のなると感じた。盆栽の歴史や知識を学び、育て方をマスターできたからこそ、そのすばらしさを理解できたと思う。	
●スタートは「楽しく、おもしろい」体験ツアー。盆栽理解には「知識」「実践」学習ツアー、興味持ったら「盆栽」実行 困ったら「アフターフォロー」安心 学習・体験型の日帰りツアー1年前中土居、土居文化会館で楽しみながら盆栽の基礎的な知識を学び、ひと通りの育て方をマスターする。午後は、観音庵(日本庭園)に移り、総合芸術としての盆栽文化へ掛け軸(書道文化体験)、水引(地元開山石)、鉢(陶芸)、茶道(地元新茶家)、水引(おいらひらひら)について体験する。他に、地元盆栽園めぐり(盆栽城)、原生林鑑賞(赤石山系)、盆栽たいそう(ダンス)、昼食(地元特産里芋の料理)なども実施する。好みの「ミニ五葉松盆栽」を鉢+プレゼントし、帰って育ててもらい、定期的に連絡を入れる。自分で育てていく疑問点が出たら、丁寧に質問に答える。販売後のアフターフォローサービスに力を入れる。リピーター、新顧客の掘り起しにつなげる。	

(応募用紙より)

(発表資料より)

都合によりやむを得ず審査会(発表会)を欠席したため、残念ながら受賞には至りませんでした。最終審査に残った10作品のうちの1つとして、ここで紹介します。